

# 2010年8月期第1四半期業績 及び業績見通し

**徳永 敏久**  
株式会社ファーストリテイリング  
経営管理部長

1

経営管理部長の徳永です。

2010年8月期第1四半期業績、及び  
通期の業績見通しについてご説明します。

I. 第1四半期決算概要	P3	~	P14
II. 2010年8月期業績予想	P15	~	P20
III. ご参考資料	P21	~	P23

**【資料文中のグループ事業の表示について】**

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：中国・香港、韓国、シンガポール、英国、米国、フランス、ロシアにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことです。

GOVリテイリング、キャビンが含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)です。

セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業が含まれています。

**【将来予測に関するご注意】**

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

## 【連結】2010年8月期 第1四半期実績

**売上高** : 2,634億円 (前年同期比 +39.8%)  
**営業利益** : 610億円 (前年同期比 +49.1%)  
**経常利益** : 586億円 (前年同期比 +58.2%)

	2009年8月期	2010年8月期 第1四半期		単位: 億円
	第1四半期実績	実績	前年同期比	
<b>売上高</b> (売上比)	1,885 100.0%	<b>2,634</b> 100.0%	+ 39.8%	
<b>売上総利益</b> (売上比)	961 51.0%	<b>1,380</b> 52.4%	+ 43.6% + 1.4p	
<b>販管費</b> (売上比)	551 29.3%	<b>770</b> 29.2%	+ 39.5% 0.1p	
<b>営業利益</b> (売上比)	409 21.7%	<b>610</b> 23.2%	+ 49.1% + 1.5p	
<b>経常利益</b> (売上比)	370 19.7%	<b>586</b> 22.3%	+ 58.2% + 2.6p	
<b>特別損益</b> (売上比)	1	1	-	
<b>純利益</b> (売上比)	221 11.8%	<b>348</b> 13.2%	+ 57.2% + 1.4p	

のれん償却額 2010年8月期1Q: 18億円 2009年8月期1Q: 11億円

3

まず、2010年8月期 第1四半期連結業績についてご説明します。

売上高は2,634億円、前年同期比39.8%増、  
 営業利益は610億円、前年同期比49.1%増、  
 経常利益は586億円、前年同期比58.2%増、  
 大幅な増収増益を達成致しました。

次のスライドで要因をご説明します。

## 【連結】第1四半期 増収増益の要因

売上高 2,634億円 (前年同期比 +39.8%)

国内ユニクロ事業 +475億円      海外ユニクロ事業 +116億円  
グローバルブランド事業 +149億円

売上高総利益率 52.4% (前年同期比 +1.4p)

国内ユニクロ事業での改善 +1.1p

売上高販管費率 29.2% (前年同期比 0.1p)

国内ユニクロ事業での改善 1.3p

営業利益率 23.2% (前年同期比 +1.5p)

経常利益率 22.3% (前年同期比 +2.6p)

円高の進展による為替差損の発生 23億円

4

まず売上高ですが、2,634億円、前年同期比749億円の増収、39.8%増でした。

主な増収の要因は、好調な国内ユニクロ事業が475億円の増収になったこと、海外ユニクロ事業が116億円の増収となったこと、2009年8月期の第3四半期から連結を開始したセオリー事業の影響でグローバルブランド事業が149億円の増収となったことによります。

売上高総利益率は、前年同期比1.4ポイント改善いたしました。これは、国内ユニクロ事業において、粗利益率が1.1ポイント上昇したことが主な要因です。

販管費は、前年同期比で218億円増えておりますが、販管費比率は0.1ポイント改善しております。売上が好調であった国内ユニクロ事業において販管費比率が1.3ポイント改善いたしましたが、販管費率の高いセオリー事業が新規に連結された影響で0.1ポイントの改善にとどまっております。

これらの結果、営業利益は610億円、前年同期比49.1%の増益となり、営業利益率は23.2%と前年同期比で1.5ポイント改善いたしました。

また、経常利益につきましては586億円、前年同期比58.2%増、経常利益率は22.3%と、前年同期比で2.6ポイント改善いたしました。

営業外損益の内訳としては主に、海外子会社向け貸付金にかかる評価差損などで為替差損が23億円発生しておりますが、前年同期に比べて金額が減少しております。

## 第1四半期 グループ事業別実績

		2009年8月期 第1四半期実績	2010年8月期 実績	第1四半期 前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	1,573	2,049	+ 30.2%
	営業損益 (売上比)	393 25.0%	562 27.5%	+ 42.9% + 2.5p
海外ユニクロ事業	売上高	90	207	+ 129.1%
	営業損益 (売上比)	7 7.9%	31 15.3%	+ 344.4% + 7.4p
国内関連事業	売上高	136	144	+ 6.2%
	営業損益 (売上比)	2 2.2%	0 0.3%	- 1.9p
グローバルブランド事業	売上高	79	228	+ 189.4%
	営業損益 (売上比)	10 12.8%	26 11.8%	+ 167.4% 1.0p

主な適用為替レート

2010年8月期(第1四半期) 1USD= 89.45円 1EUR=132.43円 1GBP=146.23円 1RMB=13.37円 100KRW= 7.60円

2009年8月期(第1四半期) 1USD= 99.20円 1EUR=132.68円 1GBP=164.77円 1RMB=15.67円 100KRW= 7.58円

5

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、営業利益を示しております。詳しくは次のスライド以降でご説明いたします。

### 好調な売上を背景に大幅増益を達成

単位: 億円

	2009年8月期 第1四半期実績	2010年8月期 実績	第1四半期 前年同期比
	<b>売上高</b> (売上比)	1,573 100.0%	2,049 100.0%
<b>売上総利益</b> (売上比)	779 49.6%	1,039 50.7%	+ 33.2% + 1.1 p
<b>販管費</b> (売上比)	385 24.5%	476 23.2%	+ 23.4% 1.3 p
<b>営業利益</b> (売上比)	393 25.0%	562 27.5%	+ 42.9% + 2.5 p

6

まず、国内ユニクロ事業についてですが、売上高は2,049億円、前年同期比30.2%増、営業利益は562億円、前年同期比42.9%増と、大幅な増収増益を達成致しました。

なお、売上高は期初計画に比べて約200億円、営業利益は約100億円上回る結果となっております。

項目ごとにつきましては、次のスライドでご説明させていただきます。

## 【国内ユニクロ事業】売上高の状況

**1Q 売上高 2,049億円 (前年同期比 +30.2%)**

- ・ 既存店売上高 前年比 +20.8% (客数 +16.1%、客単価 +4.1%)
  - ・ 秋シーズンの新商品が好調(ネオレザーなどのアウター)
  - ・ パリ グローバル旗艦店のオープン(10月1日)、「+J」を全世界で販売開始、銀座店の増床リニューアルオープン(10月2日)などが話題に
  - ・ 「FR60周年記念キャンペーン」の実施(11月21日～12月31日)
  - ・ ヒートテック販売数量増加による増収効果
- ・ ユニクロ直営店 前年同期末比 25店舗増 (2009年11月末 772店舗 )

前年比増減率		2010年8月期				
		9月	10月	11月	9-11月計	12月
既存店計	売上高	+31.6%	+35.7%	+7.9%	+20.8%	+11.5%
	客数	+22.8%	+24.6%	+7.3%	+16.1%	+13.4%
	客単価	+7.2%	+8.9%	+0.6%	+4.1%	1.7%

F C店 20店舗を除く

7

まず第1四半期の売上高が前年比で30.2%増収となった要因は、既存店売上高が20.8%増となったことによります。

その内訳としては、客数が16.1%増、客単価が4.1%増となっております。

秋シーズンではネオレザーをはじめとしたアウターや、ファッション性を取り入れた秋物の新商品が好調でした。

また、10月1日パリにオープンしたグローバル旗艦店、デザイナーのジル・サンダー氏との取り組みによる「+J」を全世界のユニクロで販売を開始したこと、銀座店の増床リニューアルオープンなどが話題を集め、客数を増やすことができました。

また11月は「ファーストリテイリング創業60周年記念キャンペーン」を実施したことから、高い水準であった昨年11月の売上高を上回り、増収を達成することができました。

なお、この第1四半期では、ヒートテックの数量を大きく増やしたことも増収に寄与しております。

12月の既存店売上高も既に発表済ではございますが、11.5%の増収を達成いたしました。

第1四半期3ヶ月間での出退店は、33店舗の出店、11店舗の閉店となり、8月末から22店舗増えております。また、前年同期末比では、25店舗増の772店舗となっております。

**1Q 売上高総利益率 50.7% (前年同期比 +1.1p)**

### 秋物新商品が好調

- 人気商品(ネオレザーなどのアウター)が好調

### ヒートテックの販売好調

- 昨年に比べて数量を増加(2,700万枚 4,700万枚)

シーズン立ち上がりから好調な売れ行き

### 早めのシーズン切り替え

- 夏物処分を早期実施(2009年8月期4Qに実施)

8

国内ユニクロ事業の第1四半期の売上高総利益率は50.7%と前年同期に比べて1.1ポイント上昇いたしました。

主な要因としてはまず、秋物の新商品が好調だったことがあげられます。ネオレザーをはじめとしたファッション性を取り入れたアウター類が好調だったことなど、秋物販売は順調に推移いたしました。

また、昨年に引き続きヒートテックの販売は好調に推移しております。昨年日本国内で販売した2,700万点から計画販売数量を4,700万点へ大きく引き上げ、シーズン立ち上がりから好調な売れ行きとなっており、粗利益率改善に寄与しております。

粗利益率改善の要因として、「早めのシーズン切り替え」も貢献しております。夏物在庫の消化を早めに開始したことにより、前期の第4四半期では、粗利益率の押し下げ要因となりましたが、当第1四半期では、粗利益率を改善させる要因となっています。

**1Q 売上高販管費率 23.2% (前年同期比 1.3p)**

**人件費率 0.4ポイント**

**売上好調により効率向上**

**広告宣伝費率 0.1ポイント**

**売上アップにより効率向上**

**賃借料率 0.4ポイント**

**固定家賃店舗の効率向上**

国内ユニクロ事業の販管費は増収に伴い、前年同期比で90億円増加していますが、これは主に売上連動による経費増であり、売上高販管費比率は1.3ポイント向上しています。

まず売上高人件費比率は、売上好調により前年同期に比べて0.4ポイント改善しております。

広告宣伝費についても売上好調により売上対比で前年同期に比べて0.1ポイント改善しております。

賃借料率も0.4ポイント改善しております。

店舗数の6割を占めるロードサイド店の大半は固定家賃であるため、既存店売上が好調であったことにより効率が改善しております。

## 大幅な増収増益を達成

**アジア 順調に拡大**(店舗数 09/8末 76店舗 09/11末 99店舗)

中国 決算期変更で5ヶ月間を連結、10店舗出店と既存店二桁増で増収増益

香港 「+J」の効果や景気の回復などにより既存店二桁増収、大幅増益

韓国 積極的な販促活動が奏功しブランド認知度向上し増収増益

**欧米 パリ旗艦店オープン**(店舗数 09/8末 16店舗 09/11末 17店舗)

英国 パリ旗艦店、「+J」によりブランド認知度向上、業績は大幅に改善

米国 「+J」効果などにより大幅増収、黒字幅拡大

フランス グローバル旗艦店は計画を大幅に上回る売上を達成

		単位: 億円		
		2009年8月期	2010年8月期	第1四半期
		第1四半期実績	実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	90	207	+ 129.1%
	営業損益	7	31	+ 344.4%
	(売上比)	7.9%	15.3%	+ 7.4p

10

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は207億円と倍増、営業利益は31億円と大幅に拡大いたしました。売上高、営業利益ともに計画を上回っております。

まず、中国につきましては、決算期を従来の6月から8月に変更したことで5ヶ月間の業績を連結しております。中国ではこの5ヶ月間で10店舗出店し、既存店売上高も二桁増となり、業績は好調に推移いたしました。

香港については、「+J」を展開したことや、景気が回復してきていることなどから既存店売上高は二桁増となり、大幅な増益を達成いたしました。

韓国の業績につきましては、9月に8店舗同時に出店したことや、初めてテレビコマーシャルを実施したことによりユニクロの認知度がさらに向上し、増収増益を達成いたしました。

次に、欧米ですが、10月1日パリにグローバル旗艦店をオープンし、予想を大幅に上回る売上高を達成することができました。

英国でも、パリのグローバル旗艦店が成功したニュースや「+J」の展開によりブランド認知度がさらに高まり、業績は大幅に改善しております。「+J」はオックスフォードストリートの旗艦店など3店舗で展開しており好評を博しております。

米国につきましても「+J」の展開効果などにより二桁増収が続いており、営業黒字幅は拡大しております。

### ジーユーは好調持続、フットパークの閉店進む

#### GOVリテイリング 業績はほぼ計画通り

**ジーユー事業** 計画を上回り大幅な増収増益、  
出店も年間50店ペースで順調に拡大

**靴事業** 閉店セールの影響により赤字幅拡大

**キャビン** アパレル業界不振の影響で業績下ぶれ

		単位：億円		
		2009年8月期 第1四半期実績	2010年8月期 実績	第1四半期 前年同期比
国内関連事業	売上高	136	144	+ 6.2%
	営業損益	2	0	-
	(売上比)	2.2%	0.3%	1.9p

次に国内関連事業ですが、売上高は144億円と前年同期比で6.2%増、営業損益は黒字でしたが前年同期に比べて減益となっております。なお、この数値は計画を若干下回る水準となっております。

ジーユー事業は、2009年3月から「990円ジーンズ」を発売して以来、売上が大幅に伸びており、この第1四半期でも同様のトレンドが続いております。出店についても年間50店舗の計画に沿って順調に拡大しております。

ジーユーの第1四半期の業績については、計画を上回り、大幅な増収増益を達成いたしました。

一方、靴事業はフットパークの閉店を進め、閉店セールを実施したことから赤字幅は拡大しております。

なお、この第1四半期では靴事業の閉店数は123店舗となっております。

この結果、GOVリテイリングの業績は、ほぼ計画通りとなりました。

キャビンはファッションアパレル業界不振の影響を受け、既存店売上高の前年割れが続いており、業績は計画を下ぶれております。



## 【グローバルブランド事業】第1四半期実績

### セオリー事業の連結開始で増収増益

セオリー事業 売上高はほぼ計画通り

在庫コントロールを強化、円高進行による

調達コスト低減により増益、計画を若干上回る

コントワー・デ・コトニエ事業 既存店は増収に転じ計画通りの業績

プリンセス タム・タム事業 ほぼ計画通りの業績

単位：億円

		2009年8月期 第1四半期実績	2010年8月期 実績	第1四半期 前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	79	228	+ 189.4%
	営業損益	10	26	+ 167.4%
	(売上比)	12.8%	11.8%	1.0p

グローバルブランド事業の第1四半期の業績は、セオリー事業を新規に連結したことから売上高は228億円、営業利益は26億円と、大幅な増収増益を達成し、計画を上回る水準となりました。

セオリー事業では売上高はほぼ計画通りに推移いたしました。収益面では在庫コントロールを強化したこと、円高の進行により調達コストが低減したことから、営業利益は増益となり、計画を若干上回ることができました。

コントワー・デ・コトニエ事業はほぼ計画通りの業績となっております。

この秋冬のコレクションの評価も高かったことから第1四半期の既存店売上高は増収に転じ、計画通りの業績となりました。

プリンセス タム・タム事業は、直営店の売上は計画を上回りましたが、卸売販売が不調だったことから、全体としてはほぼ計画通りの業績となっております。

単位：億円

	2009年8月末	2009年11月末	増 減
<b>総資産</b>	4,632	5,361	+729
<b>流動資産</b>	2,981	3,706	+724
<b>固定資産</b>	1,651	1,655	+4
<b>負債</b>	2,018	2,596	+577
<b>純資産</b>	2,614	2,765	+151

13

次に2009年11月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2009年8月末との比較では、  
流動資産が724億円増加し、固定資産が4億円増加した結果、  
全体の総資産は729億円増加して5,361億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

## 【連結】B/Sのポイント (2009年8月末比較)

**現金・預金及び有価証券の増加 +324億円 (1,697億円 2,021億円)**

- 【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュ・フローの増加 +419億円
- 【FR】 期末配当金の支払等 79億円

**たな卸資産の増加 +21億円 (745億円 767億円)**

- 【国内ユニクロ事業】 11月末残高 521億円 (前年同期末比) +86億円  
店舗数増・大型化による増加 +40億円、売上好調による倉庫在庫増など

**有形固定資産の増加 +28億円 (459億円 487億円)**

- 【国内ユニクロ事業】 +30億円

**為替予約勘定(負債)の増加 +145億円 (408億円 554億円)**

- 【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

14

まず、流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は2,021億円と、前期末比で324億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュ・フローによる収入が419億円があった一方で、期末配当金の支出など79億円あったことによるものです。

たな卸資産は767億円と、8月末比では21億円増加しております。国内ユニクロ事業の11月末の在庫は521億円と前年同期に比べて86億円増加しております。これは、店舗数が増えたことや店舗の大型化に伴う影響が約40億円、残りは売上好調による発注の早期化に伴う倉庫在庫増などです。

有形固定資産は、前期末比で28億円増加しております。国内ユニクロ事業の出店に伴い、30億円増加したことがその主な要因です。

為替予約勘定が負債側で前期末比145億円増加しておりますが、これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

## 売上高、利益ともに増額修正

単位：億円

	2009年8月期 通期実績	2010年8月期 期初予想		2010年8月期 修正予想		
		(10/8時点)	前期比	(1/8時点)	前期比	期初予想比
<b>売上高</b> (売上比)	6,850 100.0%	7,980 100.0%	+ 16.5%	8,200 100.0%	+ 19.7%	+ 2.8%
<b>売上総利益</b> (売上比)	3,415 49.9%	4,010 50.3%	+ 17.4% + 0.4p	4,145 50.5%	+ 21.4% + 0.6p	+ 3.4%
<b>販管費</b> (売上比)	2,328 34.0%	2,810 35.2%	+ 20.7% + 1.2p	2,840 34.6%	+ 21.9% + 0.6p	+ 1.1%
<b>営業利益</b> (売上比)	1,086 15.9%	1,200 15.0%	+ 10.5% 0.9p	1,305 15.9%	+ 20.1% + 0.0p	+ 8.8%
<b>経常利益</b> (売上比)	1,013 14.8%	1,150 14.4%	+ 13.5% 0.4p	1,255 15.3%	+ 23.9% + 0.5p	+ 9.1%
<b>当期純利益</b> (売上比)	497 7.3%	620 7.8%	+ 24.5% + 0.5p	675 8.2%	+ 35.6% + 0.9p	+ 8.9%

2010年8月期予想：設備投資額 290億円、減価償却費 110億円

2009年8月期実績：設備投資額 226億円、減価償却費 97億円

15

ここからは、2010年8月期の業績予想についてご説明します。

通期の連結売上高は、期初予想の7,980億円から8,200億円へ、  
営業利益は1,200億円から1,305億円、経常利益は1,150億円から1,255億円へ、当期利益  
は620億円から675億円へとそれぞれ修正いたします。

## 売上高200億円、営業利益100億円を増額修正

単位：億円

	2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
	通期実績	期初予想 (10/8時点)	前期比	修正予想 (1/8時点)	前期比	期初予想比
<b>売上高</b> (売上比)	5,381 100.0%	<b>5,950</b> 100.0%	+ 10.6%	<b>6,150</b> 100.0%	+ 14.3%	+ 3.4%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,590 48.1%	<b>2,872</b> 48.3%	+ 10.9% (+ 0.2p)	<b>2,985</b> 48.5%	+ 15.2% (+ 0.4p)	+ 3.9% (+ 0.2p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,482 27.6%	<b>1,672</b> 28.1%	+ 12.8% (+ 0.5p)	<b>1,685</b> 27.4%	+ 13.6% (+ 0.2p)	+ 0.8% (+ 0.7p)
<b>営業利益</b> (売上比)	1,107 20.6%	<b>1,200</b> 20.2%	+ 8.3% (+ 0.4p)	<b>1,300</b> 21.1%	+ 17.4% (+ 0.5p)	+ 8.3% (+ 0.9p)

16

まず国内ユニクロ事業の通期の業績予想は、第1四半期の上ぶれ分を反映し、売上高で200億円、営業利益で100億円、増額修正いたします。

この結果、売上高は6,150億円、前期比14.3%増、営業利益1,300億円、前期比17.4%増と修正いたします。

なお、12月の既存店売上高は11.5%増と好調で、売上、利益ともに計画を上回っておりますが、1月以降については冬物在庫の欠品などの影響が考えられるため、12月の上ぶれ分は今回の修正に反映していません。

## 【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2009年8月期 実績	2010年8月期		
		期初予想 (10月8日時点)	修正予想 (1月8日時点)	前期比
売上高	5,381 億円	5,950 億円	6,150 億円	+14.3%
既存店伸び率(通期)	+11.3%	+3.0%	+6.2%	5.1p
上期	+12.9%	+5.4%	+11.2%	1.7p
下期	+9.3%	+0.0%	+0.0%	9.3p
店舗数純増(通期)	10店舗	34店舗	34店舗	+24店舗
上期	6店舗	16店舗	16店舗	+10店舗
下期	4店舗	18店舗	18店舗	+14店舗
売上高総利益率(通期)	48.1%	48.3%	48.5%	+0.4p
上期	48.5%	48.5%	49.0%	+0.5p
下期	47.7%	48.0%	48.0%	+0.3p
売上高販管費率(通期)	27.6%	28.1%	27.4%	0.2p
上期	25.3%	25.5%	24.4%	0.9p
下期	30.3%	31.4%	31.4%	+1.1p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提につきましては、第1四半期の実績を反映し、こちらのスライドの数値に修正しております。

2010年8月期通期の既存店売上高伸び率は、期初予想の3.0%増から6.2%増に、売上高総利益率は期初予想の48.3%から48.5%にそれぞれ修正しております。

## 欧米・中国での業績上ぶれを反映

- フランス** グローバル旗艦店の売上は予想を大きく上ぶれ、  
売上・利益ともに増額修正
- 英国・米国** パリのグローバル旗艦店オープン効果、  
「+J」の発売により、ブランドイメージが向上  
業績上ぶれ
- 中国** 好調な売上により増額修正

単位：億円

	2009年8月期 通期実績	2010年8月期		2010年8月期			
		期初予想 (10/8時点)	前期比	修正予想 (1/8時点)	前期比	期初予想比	
<b>海外ユニクロ事業</b>	<b>売上高</b>	377	650	+ 72.0%	700	+ 85.2%	+ 7.7%
	<b>営業損益</b>	16	45	+ 177.8%	60	+ 270.4%	+ 33.3%
	(売上比)	4.3%	6.9%	+ 2.6p	8.6%	+ 4.3p	+ 1.7p

18

次に海外ユニクロ事業の業績予想ですが、各国での業績が好調であることから、売上高は期初予想の650億円から700億円へ、営業利益は期初予想の45億円から60億円へと修正いたします。

ユニクロフランスの業績は、10月にオープンしたグローバル旗艦店の売上高が予想を大きく上回り、また、現在も好調な売れ行きが続いていることから、売上高、利益ともに増額修正しております。

また、英国、米国では、パリのグローバル旗艦店のオープンや、「+J」の発売によりブランドイメージが向上したことから、売上、利益ともに好調に推移し、通期の業績予想を増額修正いたしました。

なお、中国につきましても、好調な売れ行きが続いており、売上、利益ともに増額修正しております。

また、新規進出したシンガポールでは、12月に売場面積約300坪のサマセット店をオープンし、順調に業績を拡大しております。

また、春にはモスクワに1号店を出店する予定です。

### キャビンの業績下ぶれにより減額修正

**キャビン** ファッションアパレル業界不振の影響から業績下ぶれ、売上、営業損益とも減額修正  
今後も商品開発を強化

**GOVリテイリング** フットパークは閉店セールの影響で赤字幅拡大が2Qまで続くも、ジーユー好調のため、全体の業績予想は変更なし

単位：億円

		2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
		通期実績	期初予想 (10/8時点)	前期比	修正予想 (1/8時点)	前期比	期初予想比
<b>国内関連事業</b>	売上高	515	500	2.9%	470	8.8%	6.0%
	営業損益 (売上比)	5	3	-	7	-	-
		-	0.6%	-	-	-	-

19

次に、国内関連事業の業績予想ですが、キャビンの業績が計画を下回っていることから、売上高は期初予想の500億円から470億円へ、営業損益は期初予想の3億円の黒字から7億円の赤字へと修正いたします。

キャビンにつきましては、ファッションアパレル業界の売上不振の影響を受けて、既存店売上高の前年割れが続いております。

そのことから、通期の売上高、営業損益ともに減額修正いたします。

今後も、主力ブランドのザジ、アンラシーネのブランド認知度アップや、ファッション性とお手ごろ感を両立した商品開発の強化を進めてまいります。

GOVリテイリングにつきましては、フットパークは閉店セールの影響で赤字幅拡大が第2四半期まで続くことが見込まれていますが、ジーユーにつきましては当初の計画を上回り、好調に推移していることから、GOVリテイリングの業績予想は変更しておりません。

## 2010年8月期 グループ事業別 業績予想

国内ユニクロ事業 : 増額修正  
 海外ユニクロ事業 : 増額修正  
 国内関連事業 : 減額修正  
 グローバルブランド事業 : 変更なし

単位: 億円

		2009年8月期		2010年8月期		2010年8月期	
		通期実績	期初予想 (10/8時点)	前期比	修正予想 (1/8時点)	前期比	期初予想比
国内ユニクロ事業	売上高	5,381	5,950	+ 10.6%	6,150	+ 14.3%	+ 3.4%
	営業損益 (売上比)	1,107 20.6%	1,200 20.2%	+ 8.3% 0.4p	1,300 21.1%	+ 17.4% + 0.5p	+ 8.3% + 0.9p
海外ユニクロ事業	売上高	377	650	+ 72.0%	700	+ 85.2%	+ 7.7%
	営業損益 (売上比)	16 4.3%	45 6.9%	+ 177.8% + 2.6p	60 8.6%	+ 270.4% + 4.3p	+ 33.3% + 1.7p
国内関連事業	売上高	515	500	2.9%	470	8.8%	6.0%
	営業損益 (売上比)	5 -	3 0.6%	- -	7 -	- -	- -
グローバルブランド事業	売上高	555	850	+ 52.9%	850	+ 52.9%	+ 0.0%
	営業損益 (売上比)	36 6.6%	45 5.3%	+ 22.7% 1.3p	45 5.3%	+ 22.7% 1.3p	+ 0.0% + 0.0p

のれん償却額 2010年8月期予想 75億円 2009年8月期実績 64億円

20

2010年8月期 予想為替レート 1USD=90.0円 1EUR=130.0円 1GBP=140.0円 1RMB=13.00円 100KRW=7.5円

通期のグループ事業別業績予想はこのスライドのとおりです。

なお、グローバルブランド事業は期初予想から修正はございません。

最後に、2010年8月期の一株当たり配当金は中間配当で100円、期末配当で100円、年間では200円を予想しており、こちらは期初の予想から変更はございません。

最後にご参考資料として、出退店の一覧ならびに連結及び国内ユニクロの2010年8月期中間業績予想を添付しておりますのでご参照ください。

以上で私からの説明を終わります。

ありがとうございました。



<ご参考>

## 連結対象会社別出退店 実績・予想

[単位:店舗]	09年8月	2010年8月期							
	実績 期末	1Q実績(2009/11末)				通期 予想(2010/8末)			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
<b>ユニクロ事業合計</b>	<b>862</b>	<b>58</b>	<b>12</b>	<b>+46</b>	<b>908</b>	<b>119</b>	<b>29</b>	<b>+90</b>	<b>952</b>
国内ユニクロ事業:	770	33	11	+22	792	60	26	+34	804
直営店	750	33	11	+22	772	60	26	+34	784
大型店	71	10	0	+10	81	25	0	+25	96
標準店等	679	23	11	+12	691	35	26	+9	688
FC	20	0	0	+0	20	0	0	+0	20
海外ユニクロ事業:	92	25	1	+24	116	59	3	+56	148
中国(除く香港)	33	10	1	9	42	30	1	+29	62
香港	11	1	0	1	12	2	0	+2	13
韓国	30	13	0	13	43	24	0	+24	54
シンガポール	2	0	0	0	2	1	0	+1	3
英国	14	0	0	+0	14	0	2	-2	12
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	1	0	1	2	1	0	1	2
ロシア	-	0	0	0	0	1	0	1	1
<b>GOVリテイリング</b>	<b>351</b>	<b>22</b>	<b>123</b>	<b>101</b>	<b>250</b>	<b>52</b>	<b>191</b>	<b>139</b>	<b>212</b>
ジーユー事業	72	22	0	+22	94	50	3	+47	119
靴事業	279	0	123	123	156	2	188	186	93
<b>キャビン</b>	<b>205</b>	<b>13</b>	<b>9</b>	<b>+4</b>	<b>209</b>	<b>22</b>	<b>13</b>	<b>+9</b>	<b>214</b>
<b>セオリー事業</b>	<b>306</b>	<b>17</b>	<b>2</b>	<b>+15</b>	<b>321</b>	<b>23</b>	<b>9</b>	<b>+14</b>	<b>320</b>
<b>コントワー・デ・コトニエ事業</b>	<b>368</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>+4</b>	<b>372</b>	<b>27</b>	<b>1</b>	<b>+26</b>	<b>394</b>
<b>プリンセス・タム・タム事業</b>	<b>166</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>167</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>160</b>
<b>総 合 計</b>	<b>2,258</b>	<b>119</b>	<b>150</b>	<b>31</b>	<b>2,227</b>	<b>244</b>	<b>250</b>	<b>6</b>	<b>2,252</b>

FC店含む

## 【連結】2010年8月期 中間業績予想

単位: 億円

	2009年8月期 中間実績	2010年8月期 中間		2010年8月期 中間		
		期初予想 (10/8時点)	前年同期比	修正予想 (1/8時点)	前年同期比	期初予想比
<b>売上高</b> (売上比)	3,574 100.0%	<b>4,375</b> 100.0%	+22.4%	<b>4,595</b> 100.0%	+28.6%	+5.0%
<b>売上総利益</b> (売上比)	1,780 49.8%	<b>2,200</b> 50.3%	+23.6% (+ 0.5p)	<b>2,335</b> 50.8%	+31.1% (+ 1.0p)	+6.1% (+ 0.5p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,081 30.3%	<b>1,415</b> 32.3%	+30.8% (+ 2.0p)	<b>1,445</b> 31.4%	+33.6% (+ 1.1p)	+2.1% (- 0.9p)
<b>営業利益</b> (売上比)	698 19.5%	<b>785</b> 17.9%	+12.4% (- 1.6p)	<b>890</b> 19.4%	+27.4% (- 0.1p)	+13.4% (+ 1.5p)
<b>経常利益</b> (売上比)	631 17.7%	<b>760</b> 17.4%	+20.3% (- 0.3p)	<b>865</b> 18.8%	+37.0% (+ 1.1p)	+13.8% (+ 1.4p)
<b>当期利益</b> (売上比)	355 9.9%	<b>425</b> 9.7%	+19.5% (- 0.2p)	<b>480</b> 10.4%	+35.0% (+ 0.5p)	+12.9% (+ 0.7p)

単位：億円

	2009年8月期	2010年8月期中間		2010年8月期中間		
	中間実績	期初予想 (10/8時点)	前年同期比	修正予想 (1/8時点)	前年同期比	期初予想比
<b>売上高</b> (売上比)	2,962 100.0%	<b>3,330</b> 100.0%	+ 12.4%	<b>3,530</b> 100.0%	+ 19.2%	+ 6.0%
<b>売上総利益</b> (売上比)	1,437 48.5%	<b>1,615</b> 48.5%	+ 12.3% 0.0p	<b>1,728</b> 49.0%	+ 20.2% + 0.5p	+ 7.0% + 0.5p
<b>販管費</b> (売上比)	749 25.3%	<b>850</b> 25.5%	+ 13.4% + 0.2p	<b>863</b> 24.4%	+ 15.2% 0.9p	+ 1.5% 1.1p
<b>営業利益</b> (売上比)	688 23.2%	<b>765</b> 23.0%	+ 11.1% 0.2p	<b>865</b> 24.5%	+ 25.7% + 1.3p	+ 13.1% + 1.5p